

## 第72回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

### 【1】雨水の排水について

- ① 雨が降ると家の前に水が溜まりやすく、4月か5月に降った大雨の際に家の前の道路に50センチほど水が溜まってしまった。また、道路沿いに宅地が増えており、上下水道接続の工事が何度も行われたため道路の凹凸がひどく、水たまりができると危なくて出歩けない。ゲリラ豪雨など、降水量も年々増えているため、雨水管や側溝、道路の再舗装など整備を行ってほしい。
- ② マツモトデンキの前を通る際、水たまりの量が多いので整備を行ってほしい。

#### ⇒【村長コメント】

- ① 村の排水路の整備の調査が今年度に終わる予定であり、その後計画を立てるが、この地域が整備対象になるとは限らない。また、生活道路がたくさんあるため、順次整備を行っていく。
- ② 以前からマツモトデンキの方からも要望が来ている。今後、担当課と協議し、検討したい。

### 【2】村立幼稚園再編計画について

幼稚園再編成について、子供の数が減っている中、保育園の需要が増えているので幼稚園の数を減らすのは分かるが、平成30年に幼保再編の計画を立てていながら、事前に意見聴取の機会もなく、今年になって急に見直しと説明会をおこない、舟石川幼稚園を2年後にいきなり無くすというのは話が突然すぎる。幼稚園に通わせている親のことや、子供達の未来を全く考えていない。説明会でいきなり決められたことを話されても素直に納得できないし、段取りをきちんと踏む必要性があった。

少人数で就学前教育を受けさせるため、あえて働かず、舟石川幼稚園を選んで通わせているのにいきなり2年後に幼稚園を無くされるのは納得いかない。下級生との関わりも子ども達への教育になるのに、最後の年の子は下級生と関わりができないまま卒園になってしまうのは例年の子と差ができてしまう。

説明会で幼稚園がなくなる話をされただけで、来年度の募集のやり方なども決まっておらず、質問をしても回答がもらえないので、役場に対して不信感しかない。そんな状態で10/10の広報に幼稚園募集の記事を乗せるのは混乱を招くのでやめてほしい。議会でも再編成について質問があり、「利用者に対して丁寧に説明する」と答えていたのに、この状況は丁寧と言えない。

本来、子どもたちは舟石川幼稚園で様々なつながりを作り成長していくし、それは下の代にも続いていくものなのに、それをいきなり絶つのは子供達の未来を奪っているも同然である。

待機児童の解消などに力をいれて保育園を新設したりしている功績もあるのであれば、保育園へ通わせている保護者だけでなく、幼稚園を必要としている保護者のことも考えて欲しい。

舟石川幼稚園はこども園になる計画だが、村松宿こども園は運営が上手くいっていないと説明会で話をしていたのに、なぜこども園を増やすのか分からない。

村松幼稚園に児童を集めるとしているが、駐車場の数が足りていない問題や、新型コロナウイルスにおいては密になる可能性もある。舟石川小に兄弟が入学し、送迎が必要となる場合は、村松幼稚園に行き、学校にも行かねばならない。

#### ⇒【村長コメント】

急に再編計画を見直し、2年後に幼稚園を統廃合する計画を決定したのは行政側の都合であり、事前の意見聴取など必要な段取りを踏まず、いきなり説明会を行ってしまったことについては、大変反省している。今回の御意見や思いをしっかり受け止め、計画や今後の流れについて、至急担当課と話し合い、結論を出す。

### ⇒【子育て支援課コメント】

『村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画』の見直しにつきましては、各園PTA役員の皆様、在園児童の保護者様及び入園予定の児童の保護者様を対象とした説明会を開催させていただきました。しかしながら、村からの説明に終始したことで、皆様に多くのご不安やご懸念を抱かせてしまいましたことをお詫び申し上げます。

そのため、令和3年度の村立幼稚園・入園児の募集内容も含めまして、東海村長自身が直接皆様にご説明する機会を設けさせていただきましたので、ご参加くださいますようご案内します。

#### ■説明会概要

- 1 開催日時 令和2年10月9日（金）  
午前10時30分から正午まで（受付開始：午前10時）
- 2 会場 東海村文化センター（ホール）
- 3 説明者 東海村長 山田 修 子育て支援課ほか

### 【3】新型コロナウイルス感染症の感染者情報について

村内で新型コロナウイルス感染者が確認された場合、ホームページや防災無線で情報を公開しているが、感染経路や感染後の行動履歴など詳細な情報が公開されていないのは何故か。村は情報を得ているのに頑なに公開していないのか。

### ⇒【村長コメント】

感染者の情報は保健所で管理しており、感染者の感染経路、行動履歴等の情報は村から保健所へお願いしても公開してもらえない。ただし、感染者や濃厚接触者が公共施設や学校等を利用した場合は情報をもらえることになっている。感染者が公共施設等を利用していた場合は、感染拡大防止のため、施設情報を公開する予定でいる。

### 【4】障がい福祉の助成金について

今年の2月に事前に連絡もなく、令和元年度末で精神障がい者の医療費に対する助成金が終了されるとの文書が届いた。また、通知の内容では3月31日まで助成金がもらえるような書きぶりであったが、役場の決裁の問題で3月分がもらえなかった。期限などの詳細を分かりやすく文書に記載すべきではないだろうか。

### ⇒【村長コメント】

3月分の助成金については役場の要綱上4月以降に支払いができず、また今年度も予算を取っていないのでお支払いすることができない。現在、担当課が助成金の対象者に対して障がい福祉に関するアンケートを行っており、すでに福祉関連団体や住民から様々な意見や要望が出てきたため、担当課でとりまとめ、今後どのようなサービスを行っていくか検討していく。

### 【6】-1 下水道の計画について

自宅を建てた当時は、下水道が引かれていなかったが、今後引かれる計画があったので、それまでの間は、浄化槽で対応することにした。しかし、計画が見直され、自宅が対象から外れてしまった。本来であれば、浄化槽の設置の際に、村からの補助金を利用できたが、下水道が通ると思い補助金は利用しなかった。自宅の周りに5軒ほど家が建っているの、再度計画の対象として欲しい。

### ⇒【村長コメント】

計画の内容を確認し、担当課から連絡する。

### ⇒【下水道課コメント】

平成26年度に下水道計画区域の見直しを行い、当時畑であった宅地は下水道計画区域外となりましたが、前面道路には下水道管を設置する予定があるため、区域外からの接続が可能です。なお、当該地の下水道整備は事前に調査を行い、整備可能であれば5～10年の間に整備する予定ですので、整備開始時には改めてご連絡いたします。

### 【6】-2 中丸小学校入口の整備について

「中丸小入口」の横断歩道は時間帯によって、登校児童の人数が多く、横断歩道を渡り切れず危

険を感じる。歩道を広げて待機できるスペースを増やすなど対応してほしい。

⇒【村長コメント】

「中丸小入口」付近の歩道の土地を購入しようと計画したが、地権者から購入を断られた経緯がある。担当課と対応を検討する。

**【7】-1 東海病院の繁栄**

3年前に東海病院の婦人科の人員を増やす要望をしたが未だ変わっていない。

⇒【村長コメント】

未だに人員確保が難しいため、今後引き続き要望していく。

**【7】-2 駅東の歩行分離交差点の斜めに横断歩道を作してほしい**

駅東の歩行分離交差点で斜めに渡ったら、警察官に注意されたので利便性向上のために横断歩道を作って欲しい。

⇒【村長コメント】

歩行分離交差点での斜めに横断できる交差点は利用者が多いことが条件だが、駅東の交差点は通勤・通学時間帯の利用者は多いものの、それ以外の利用者は少ないため、押ボタン式にした。押ボタン式の交差点は規則上、斜めに横断ができないこととなっており、ご要望にお応えできない。

**【7】-3 小学校へ1日3時間ヘルプ会計年度スタッフを入れてほしい**

小学校では児童が下校後、学校全体の消毒作業を行っているため、教員の負担が大きい。その為、1日3時間ボランティアか会計年度スタッフを雇い、教員の負担を軽減させるべきである。

⇒【村長コメント】

今すぐ実行することは難しいが、教育委員会と協議し、検討していく。

※特筆事項がなかった方につきましては、掲載を割愛させていただきます。